

北海道立北方建築総合研究所 NEWS LETTER

北方かわらばん

Mail Magazine VOL.8 2009/07/02

「北方かわらばん」は、北海道立北方建築総合研究所が発行しているメールマガジンです。ホームページ等で配信登録された方にお送りしています。アドレスを登録した覚えのない方、登録内容の変更、配信停止は【管理者からのお知らせ】をご覧ください。このメールアドレスは配信専用のため、返信できませんのでご了承ください。

※MSゴシックなどの等幅フォントでご覧ください。

今月号のトピックス

第8号の内容はこちらです。

■イベントのお知らせ

- 平成21年調査研究報告会（札幌）のお知らせ
- 室蘭で「第11回住居領域学習研修会」を開催します
- サイエンスパーク2009に出展します

■今回の特集記事

- 平成21年調査研究報告会（旭川）を終えて

■北総研からのお知らせ

- 住宅用トータルエネルギー予測プログラム配布中
- 平成20年度年報・調査研究報告集CD-ROM発行のお知らせ

イベントのお知らせ

■【平成21年調査研究報告会（札幌）のお知らせ】

平成21年9月14日（月）札幌コンベンションセンターにおいて、「これからの北海道の住宅（仮）」をテーマに、平成21年北方建築総合研究所調査研

究報告会（札幌）を行います。

第1部は当研究所の調査研究報告、第2部はシンポジウムとして、巽和夫氏（京都大学名誉教授、長期優良住宅先導的モデル事業評価委員長）をお迎えして基調講演をいただくほか、パネルディスカッションを予定しています。

詳細が決まり次第、メールマガジンやホームページ等でお知らせする予定ですので、もうしばらくお待ちください。

※※※

■【室蘭で「第11回住居領域学習研修会」を開催します】

平成21年8月7日（金）、中学・高校の家庭科の先生を対象とした「第11回住居領域学習研修会」を室蘭市市民会館において開催します。
この研修会は、住まい・まちづくりの体験型授業を提案するもので、今回は「住まいと安全」のスライド教材を使用し、バリアフリーや地震への備えについて学ぶ授業案を紹介します。

お申込方法については、当研究所ホームページをご覧ください。
なお、同サイトには、昨年の実施内容も掲載しています。

<http://www.hri.pref.hokkaido.jp/090807kensyuukai.html>

※※※

■【サイエンスパーク2009に出展します】

平成21年7月29日（水）にサッポロファクトリーで開催される「サイエンスパーク2009」に出展します。

小中学生に科学技術について興味や関心を持ってもらおうと、道立試験研究機関や団体、企業が出展し、様々な体験や展示を通じて子どもたちに科学をわかりやすく学んでもらうイベントです。
北方建築総合研究所は、「室温を何度あげられるか挑戦してみよう」をテーマに、6畳間の室温を上げるのに必要なエネルギーを自転車で発電してもらい、エネルギーの大切さと家庭内の省エネ対策を伝えていきます。

=====
今回の特集記事
=====

■【平成21年調査研究報告会（旭川）を終えて】

旭川での調査研究報告会は、6月8日44名、6月9日133名の方にご出席

ビングと当研究所が共同研究を行い開発したものです。

ホームページよりユーザー登録を行うことができますので、本プログラムをご希望の方は、下記のホームページをご覧ください。また、Q & A ページを開設し、多く寄せられているご質問を紹介していますので、あわせてご利用ください。

<http://www.hri.pref.hokkaido.jp/provide/software-energy.html>

※※※

■【平成20年度年報・調査研究報告集CD-ROM発行のお知らせ】

平成20年度に実施した研究の概要、研究所の動き、終了した研究の報告書が1枚のCD-ROMに収録された「平成20年度年報・調査研究報告集」を発行しました。

ご希望の方は、郵送いたしますので、電話、ファクス、メールでお申込みください。

▽お問い合わせ先▽

企画指導室指導支援科

電話 0166-66-4218

FAX 0166-66-4215

メール info@hri.pref.hokkaido.jp

※※※

【編集後記】

最近、CO₂排出量の削減による低炭素社会の実現に向けた動きが活発化している。特に家庭部門の解決策として昨年12月に「長期優良住宅の普及の促進に関する法律」が公布され、この法律に基づいて計画の認定や所得税の特例、融資の優遇が措置される他、先導的な住宅モデルに対する補助事業も行われている。この長期優良住宅先導的モデル事業は新聞紙上でもたびたび取り上げられており、この不況下にあっても間違いなく住宅業界にとって追い風となっている。一般ユーザーにとってもエネルギー消費が少ない住宅は大歓迎であり、良いことをしているという精神的な後押しもあることから、大小に関わらず民間企業にあっては「環境に配慮した省エネルギーの住宅」をコンセプトに、積極的な売り込みに励んでいる。

北総研においても、かつては道民生活の快適さを目的として追い求めていた防寒住宅の技術を継承し、その目的を「環境対策」に移行させて省エネルギー住宅の研究に取り組んでいる。また、住宅設備の技術革新も確実に進んでおり、先日の日経特集「エコナビゲーション」(広告)では、燃料電池、太陽電池、二次電池が創エネルギー住宅の注目すべき技術として紹介されている。住宅の

断熱性能が向上することで生活に必要なエネルギーが縮小しており、それにより自然エネルギーなど多様なエネルギー供給の可能性が高まってくる。さらにはこうしたエネルギー供給方法の多様化により、様々な設備インフラ軽減のアイデアが生まれてくる。住宅の断熱技術と設備のエネルギー技術は当然のことながら密接に関わっており、断熱技術と設備技術のそれぞれの研究ニーズが相乗的に高まり、融合した研究も立ち上がってくる。すなわち住宅性能が向上することでエネルギー利用の可能性が拡がり、そのことがまた、新たな技術課題を生んでいく。

北総研の研究成果が技術の進化を促し、そして新たな社会を築き、さらには新たな研究課題を誘発して、社会の価値を転換していく。そんな技術スパイラルの一端でも担うことができるのであれば、また、そうした時代に直面しているのであれば、それこそが研究所の本望ではなかろうか。

(T)

=====
管理者からのお知らせ
=====

アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記の各種お問い合わせ専用アドレス宛てにメールにてお知らせください。
登録内容の変更や配信停止は、下記のアドレスをクリックしていただき、ホームページ上で手続きを行ってください。クリックしても正しく表示されない場合は、アドレスをコピーしてブラウザに貼り付けてご利用ください。
メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございますので、ご了承ください。

■購読申込・変更・配信停止はこちら

<http://www.hri.pref.hokkaido.jp/provide/mail.html>

変更・配信停止の場合は、ご意見、ご質問欄に「変更」または「配信停止」と記載してください。

■各種お問い合わせ専用メールアドレス info@hri.pref.hokkaido.jp

ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

発行：北海道立北方建築総合研究所企画指導室